

てんかん外来

南東北医療クリニック

こちら専門外来 ⑦

「てんかん」は有病率が約1%といわれ、わが国では「100万人の病」と呼ばれています。種々の成因によってもたらされる慢性の脳疾患で、大脳ニューロンの過剰な発射に由来する反復性の発作（てんかん発作）を特徴としています。一般的によく知られた病気ですが、偏見や誤解が多いために患者さんやご家族は必要以上に落ち込んでしまいます。

現在の医療では、適切な治療によって、70～80%の患者さんは発作のコントロールが可能で、正しい診断と生活指導を受けて普通に社会生活を営んでいます。しかし、薬でも発作が抑制されない難治性てんかんの患者さんもいます。てんかんは繰り返す発作に加えて様々な合併症状が持続することもあります。多くの医師は発作の抑制にのみ専念し、患者さんの悩みを聞くことや生活指導は不十分になりがちです。こうした現状を打破するには専門医による診療が重要と考えられています。てんかんでお悩みの方はぜひ、ご相談にお越しく下さい。

【診療日・時間】金曜日（第2金曜除く）午後2時～3時半 要予約
※発作症状を説明できる家族が同伴してください。

【担当】神一敬先生（東北大学大学院医学系研究科 てんかん学分野准教授）
土屋真理夫先生

【電話（予約専用）】
0120 - 14 - 5420

ネット予約からOKも

南東北医療クリニックと南東北眼科クリニックはインターネットで初診予約を受け付けています。

診療科は脳外科、眼科、小児科、内科、泌尿器科、皮膚科です。予約する場合は①総合南東北病院の初診予約専用ページから受診する診療科をクリック②診察日時を選び必要情報を入力③送信して完了です。

予約可能な診察時間は診療科により異なります。申し込み当日の予約はできません。電話での予約は、これまで通りフリーダイヤル0120(14)5420へ。

見誤らないで

過呼吸と熱中症

過呼吸（過換気症候群）は、過度のストレスや疲労、睡眠不足などが原因となつて呼吸回数が増え、血液中の二酸化炭素が不足した状態のときに起こります。ほとんどの場合、安静にしていれば10～30分で症状が治まります。

トロールできなくなり、死を意識するほどの恐怖を感じます。それでも比較的、短時間で症状が治まるため、過呼吸そのものが命の危険に結びつ

くとは考えられていません。しかし、熱中症が原因で過呼吸になつている場合は非常に危険な状態で、すぐに医療機関を受診する必要があります。

ては、身体の高熱や大量の発汗、嘔吐などが挙げられます。熱中症と過呼吸は突然起こるため、判断は難しい場合があります。見極めがつかない時は、迷わず救急車を呼ぶようにしましょう。

ただ、暑い時期には注意が必要で、熱中症も過呼吸に似て呼吸困難や手足の痺れ、痙攣、意識の低下などの症状があるからです。また、熱中症から過呼吸が起るケースもあります。このため熱中症を過呼吸と見誤ってしまうと危険です。

過呼吸になると、脳は呼吸を制限するように、強制的に身体に働きかけます。すると、自分の意志で呼吸をコン

9月以降の医学健康講座

総合南東北病院の9月医学健康講座は9月20日（金）午後2時から病院北棟1階NABEホールで開催されます。南東北第二病院外科医長の佐藤直先生が「あなたの『人生会議』始めませんか？『幸せな人生の最終ステージ』を考える」と題して講演します。

山駅午後1時発、南東北医療クリニック前午後3時30分発をご利用ください。問い合わせは脳神経疾患研究所 法人本部広報担当 電話024(934)5708へ。

総合南東北病院の医学健康講座は、最新の医療や健康に関することを専門家が分かりやすく解説する公開講座で、毎月1回、午後2時からNABEホールで開催

入場無料、予約不要で、誰でも参加できます。郡山駅―病院間の送迎バスは郡

催されます。10月以降の日程は次の通りです。

◇1月17日（金）▽橋本樹（総合南東北病院 腎・泌尿器センター長 泌尿器科）「子供からお年寄りまで 排尿の悩み解決しましょう」